

(仮称) 千代田区ウォーカブルまちづくり戦略とは

1 国におけるウォーカブルなまちづくりの動向

- 世界の多くの都市で、まちなかを、車中心から人中心の空間へと転換することで、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取組が進められている。
- 日本においては、生産年齢人口の減少等に伴う経済成長の鈍化を契機に、都市の在り方が再考され、「イノベーションの創出」「社会面での都市の役割の拡大」の重要性が高まっている。
- そのため、今後の都市の在り方として、地域の資源として存在する官民の既存ストック（以後、都市アセットと呼ぶ）を核に多様な人々の出会い・交流の場を生み出し、イノベーションの創出や人間中心の豊かな生活の実現を目指す「ウォーカブルなまちづくり」の推進を目指す機運が高まっている。
- 国土交通省では、そうした都市事情を背景に、ウォーカブルなまちづくりの推進が、人中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止といった、様々な地域課題の解決や新たな価値の創造につながると位置付けた。そして、そんな「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成を目指し、ウォーカブルなまちづくりを共に推進する「ウォーカブル推進都市」を募集し、各種措置を講じている。

※詳細は資料 1 - 2 参照

2 千代田区におけるウォーカブルなまちづくりの動向

- 千代田区は令和 3 年 5 月に千代田区都市計画マスタープランを改定。将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の量から質に転換したまちづくりを進めていくこと等を定めた。
- 令和 3 年 5 月に「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成を目指し、ウォーカブル推進都市に参画。
- 令和 3 年 6 月に、若手・中堅職員で「ウォーカブルなまちづくりに向けた勉強会」を立ち上げ、10月にウォーカブルなまちづくりに向けた提言がなされた。

3 (仮称) 千代田区ウォーカブルなまちづくり戦略策定の目的

- 千代田区都市計画マスタープランの将来像「つながる都心」の実現に向け、マスタープランで定めたテーマ別まちづくりの方針を横断して具体的な取組みへと進めていくための指針とする。
- 具体的には、地域別のまちづくり構想・計画や都市再生整備計画等の策定に向け、区民・企業・行政等で共有すべき戦略として、区内におけるウォーカブルな要素（公共空間、文化資源等）を整理、可視化したうえで、それらを活用していくための方針等を定める。
- そのため、具体的にどこの地域でウォーカブルなまちづくりに関する各種制度等を活用していくかといったことまでは定めず、それぞれの地域がウォーカブルなまちづくりを展開するための方針やその実現に向けた道筋を示すものとする。

【（仮称）千代田区ウォーカブルまちづくり戦略の位置づけ】

